

編輯だより

關西地方の愛讀者各位に心からなる御見舞を申し上げます。さうして皆様が、更に新なる勇氣と信念となを以て、大自然の暴威から人間生活を救ふ可く技術者に與へられた使命を完ふせられんことを切にお祈り致します。

×

今月一日は、恰も尊敬する廣井先生の第七回の紀念日に相當します。東京では勿論、全國各地で記念の催しがある事とせう。我等は此時に當つて、もう一度先生の遺徳を偲び、「汝等キリスト・イエスの心を以て心とすべし」とあるビリビ書の聖句に倣ひ、廣井先生の心を以て技術家としての心としたいものであります。

暗夜物凄き激浪と闘ひ乍ら、その築きし防波堤の安否を氣づかつて己れにヒストルまで擬した博士、寒空に打ち振へる街の老人の爲に、奥様が丹精をこめて新調された綿入羽織を脱ぎ、折柄の寒風にも拘らず、自らは何知らぬ顔で歸宅された廣井先生。まことに我等は先生の心を以て心としたいものであります。

×

此號は丹那隧道工事を稍々詳細に掲げてその特輯號とする豫定でしたが、先月大好評を博した橋梁工事特輯號に載せ切れなかつた諸先生方の原稿と、新に天竺技師、小室親一氏等の寄稿を得て橋梁工事號の續篇とすることにしました。丹那隧道に關しては

本誌は勿論各誌とも屢々報導して來た所ですし、工事を審かならしめる數種の單行本も出てある事ですから、我等は何れ機を改めて記すべき特長に就て記したいと思ひます。

×

こんな譯「手もとに頂いてある原稿のうち誌面の都合でどうしても次號に割愛せねばならぬものが出來て來ました。特に東京府廳の岩崎氏を煩した北米桑港の大上水工事も本號に載せ得なかつた事は残念です。お忙しい中を無理に急がせて置き乍ら甚だ相濟まなく存じますが、讀者各位と共に御諒承あらんことをお願い致します。

新刊紹介

『住居』こんど斯う云ふ雑誌が九月號から創刊されました。菊判で約70頁、住宅・店舗・庭園・家具・裝飾・設備・衛生とサブタイトルのついた瀟洒な雑誌で、建築を新しい角度から、極めて通俗的に解釋して行かうと云ふ趣旨のものです。定價30錢。東京市京橋區京橋1の2千代田信託ビル・其社發行。

通信

北海道のY. S 生様、高知の室戸岬生様、編輯部迄住所と姓名をお知らせ下さい。(係)

<p>土木工事畫報 第十卷 第十號 定價七十錢 (稅二錢) 每月一回一日發行 一年十二册發行</p>		
<p>購 讀 料</p> <p>壹 部 七十錢 稅二錢          參ヶ月 貳 圓 稅 共          六ヶ月 四 圓 同          一ヶ年 八 圓 同          外國一部 稅 共 七十八錢</p> <p>注文は總て前金、送金に必ず振替貯金にて、東京七〇貳六五番宛拂上の事、但し六ヶ月以込の申込は御希望により集金郵便を差出します。</p>	<p>昭和九年 九月廿六日印刷納本          昭和九年 十月 一日發 行</p> <p>編輯兼印刷發行人 岡 崎 保 吉          東京市豐島區長崎仲町二丁目三六二九</p> <p>印刷所 共同印刷株式會社          東京市小石川區久堅町百八番地</p> <p>發行所 工 事 畫 報 社          東京市麴町區丸ノ内三丁目六          電 話 丸ノ内二六三三番          振 替 東京七〇貳六五番</p>	<p>廣 告 料</p> <p>本誌に廣告掲載御希望の向は御一報次第社員參上御相談に應ず。</p> <p>大 賣 捌 所</p> <p>東京堂・東海堂          大東館・北隆館</p>

營業科目  
 銑 鉸 及 電 弧 溶 接  
 鋼 橋 桁 鐵 塔  
 鐵 骨 家 屋 鐵 管  
 ポ イ ン ト ク ロ ッ シ ン グ  
 軌 條 用 タ イ プ レ ー ト  
 其 他 附 帶 業 務

株式會社  
**橫河橋梁製作所**

本 社 東 京 市 芝 區 月 見 町 一 丁 目 七 番 地


電 話 三 田 一 一 七 一 番

東 京 工 場 東 京 市 芝 區 月 見 町 一 丁 目 七 番 地

電 話 三 田 四 一 一 〇 七 七 七 番 番 番 番

大 阪 工 場 大 阪 市 港 區 南 境 川 町 三 丁 目 三 〇 番 地

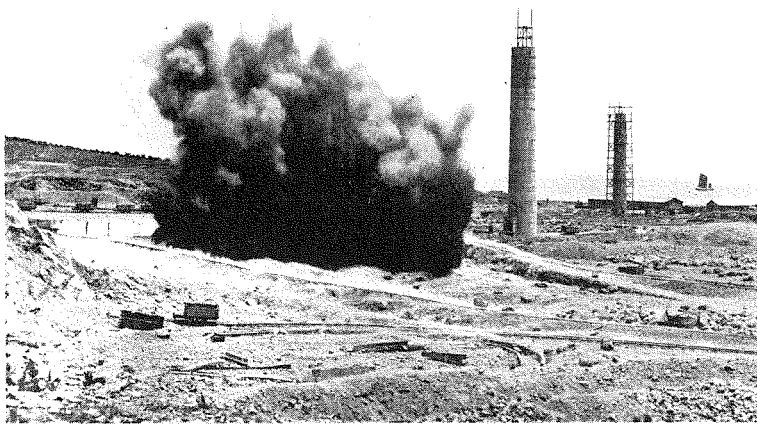
電 話 西 三 三 三 五 五 五 八 八 八 四 三 二 番 番 番 番

一般用  坑内用

# 爆薬パークウ

製品種類 稲妻印 一般用 在來發賣  
 キリン印 一般用 九月ヨリ發賣  
 虎印 坑内用 九月ヨリ發賣

（最新發賣）



（カタログ贈呈）

## 特 徴

1. 純國産過鹽素酸鹽爆薬
2. 安價ニシテ威力強烈
3. 取扱法簡易衝撃ニ鈍感ニテ安全
4. 成分ノ夏季滲出、冬季凍結皆無
5. 坑内用ハ無臭無害
6. 原料全部同系會社ノ製造ニテ自給自足

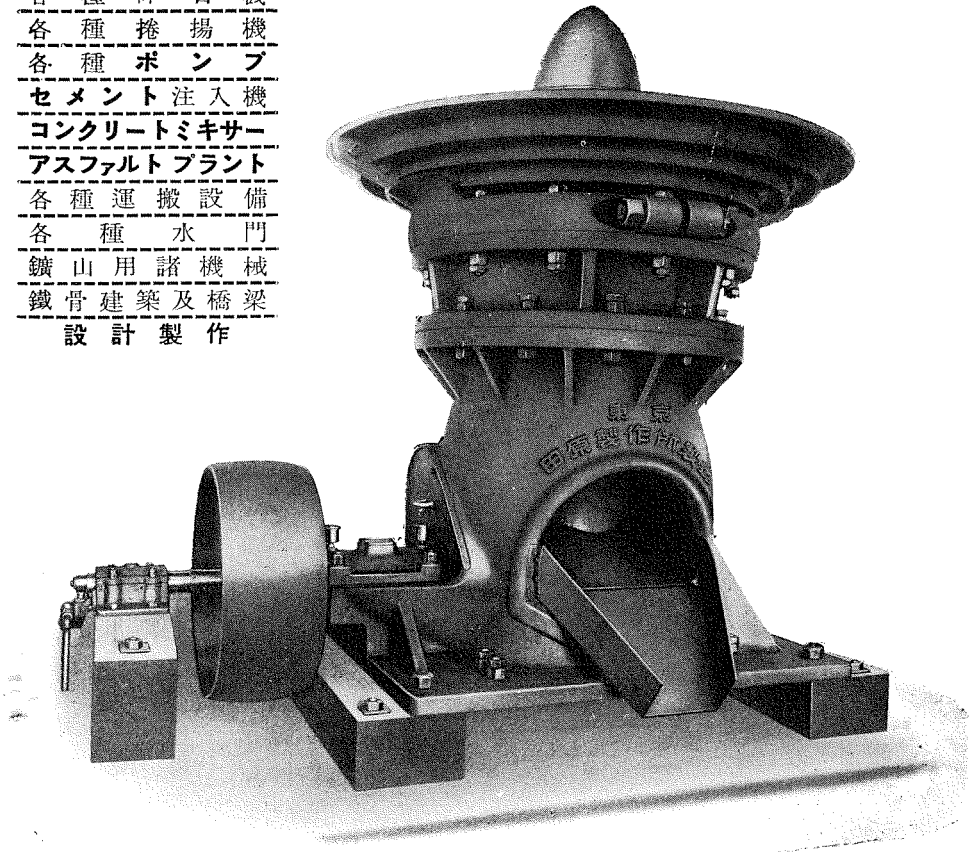
# 昭和火薬株式会社

取締役社長 森 轟 昶

本 社 東京市京橋區寶町一ノ七味ノ素ビル（電話京橋 152-156）  
 作 業 所 千葉縣夷隅郡興津町守谷（電話千葉縣興津 16）

營業種目

各種碎石機  
各種捲揚機  
各種ポンプ  
セメント注入機  
コンクリートミキサー  
アスファルトプラント  
各種運搬設備  
各種水門  
鑛山用諸機械  
鐵骨建築及橋梁  
設計製作



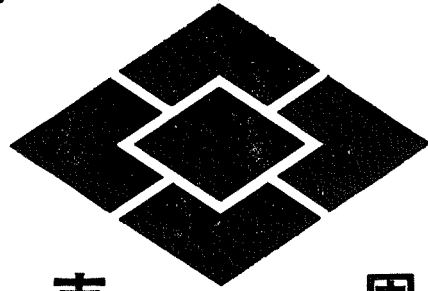
チャイレートリークラッシャー

東京・龜戸

田原製作所

電話 墨田 (74) 0026・3416 番

旭硝子 氯化鹽印



粉 末                      固 形

コンクリート工事・セメント加工用

耐伸耐壓力ヲ増加  
凝結、硬化ヲ速進

寒中工事可能

價 全 易  
安 安 簡  
ル 對 法  
頗 絕 用

東京市丸ノ内

旭硝子株式會社

營業種目 板硝子・ソーダ灰・局方重曹・苛性ソーダ・鹽化石灰・耐火煉瓦・旭ラツカー

營 業 所

東京出張所	東京市日本橋區室町四ノ六	電話日本橋(24)	{ 代表電話三〇一 } (3)
大阪出張所	大阪市東區道修町四ノ七	電話本局	{ 三二〇三 } 八
門司出張所	門司市棧橋通り一番地	電話本局	{ 五五五 } 〇〇
名古屋出張所	名古屋市中區新柳町六ノ三	電話門司	{ 五九八 } 五二
小樽出張所	小樽市南濱町一ノ四	電話本局	{ 一六九 } 七
		電話小樽	{ 一四〇 } 三

—(型錄及文獻見本等御申越次第進呈ス)—



資社  
合會

# 東京衡機製造所

代表社員 工學博士 伊東久米藏

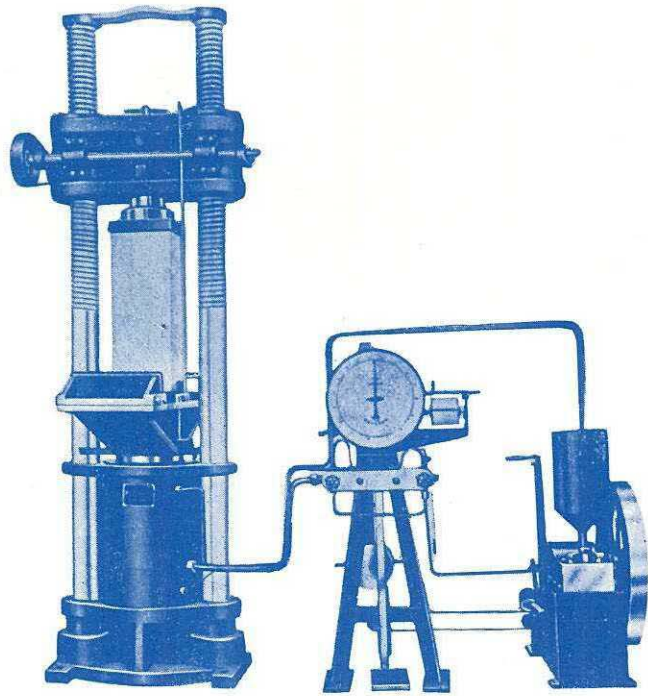
本店 東京市麴町區丸ノ内二丁目六番地  
工場 東京市品川區北品川四丁目五一六番地

電話丸ノ内(23)一七八七番 一九二四番  
電話高輪(44)一八八五番

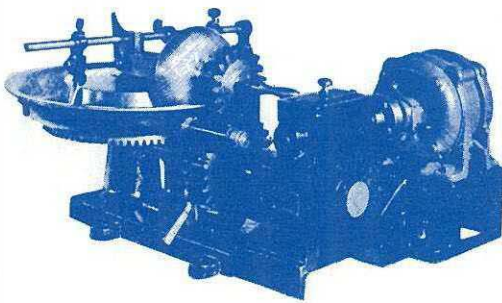
## 營業科目

各種動力計	各種材料試驗機	道路材料試驗機	セメント及コンクリート試驗機	試驗機
			鐵道及鑛山用貨車掛衡橋	衡器及天秤類一般

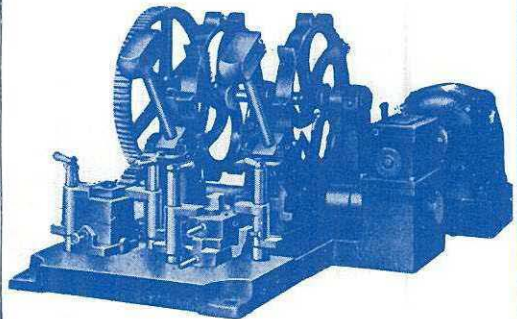
專賣特許東京衡機自働秤



東京衡機アムスラー型三百磅耐壓及彎曲試驗機  
特許東京衡機式改良振子動力計附



商工省標準「セメント混合機」  
(スタインブリックシユメルツァー型)



商工省標準鐵機(ペーメマルテンス型)

# THE "KOJI GAHO"

AN ILLUSTRATED CONSTRUCTION REVIEW

VOL. 10, NO. 10

Published Monthly by the Koji-Gaho-sha

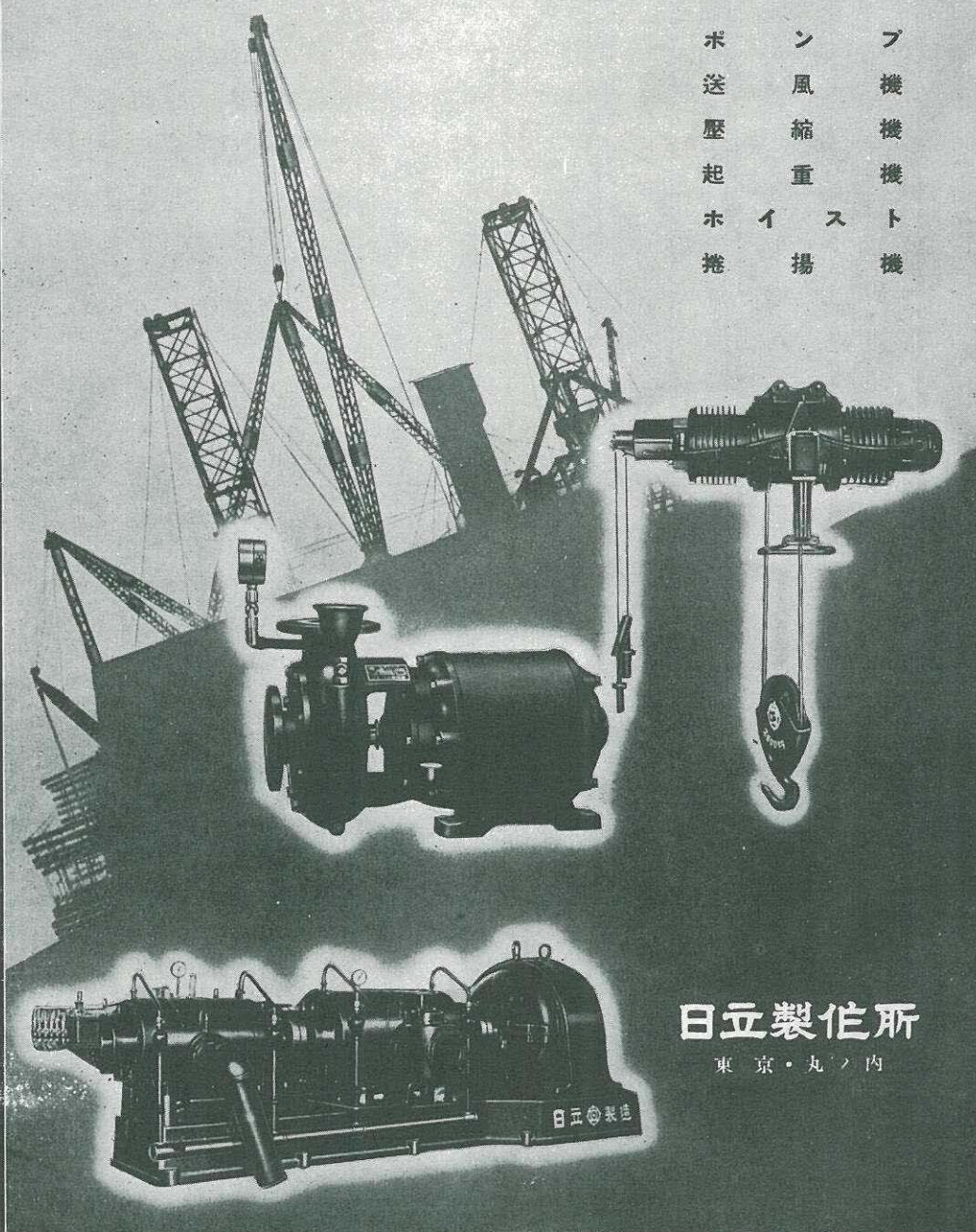
Tokyo, Japan

## 日立工事用諸機械

ボ  
送  
壓  
起  
ホ  
捲

ン  
風  
縮  
重  
イ  
揚

フ  
機  
機  
機  
ト  
機



日立製作所

東京・丸の内

定 價 金 七 拾 錢 送 料 二 錢

大正十四年七月二十八日  
昭和九年九月二十六日  
第三行郵便特種郵便  
毎月一回發行

土木  
建築  
工事  
畫報  
第十卷  
第十號